増 毛 町 総 合 戦 略

～だれもが住みたい・住み続けたい　ふるさと増毛をめざして～

平成２８年１月　策定
平成３０年７月　改訂［KPI経過追加］

増毛町

目　次

第１章　増毛町総合戦略策定にあたって…………………………………1

１．総合戦略策定の背景…………………………………………1

２．総合戦略の位置づけ…………………………………………1

３．計画期間 ………………………………………………………1

４．策定体制 ………………………………………………………2

５．推進・検証体制………………………………………………2

第２章　総合戦略の基本的な考え方……………………………………3

１．まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立……………………3

２．政策５原則の実現……………………………………………3

３．総合戦略における４つの基本目標の意義と関係性………………4

４．増毛町総合戦略の基本目標…………………………………5

第３章　具体的施策の展開……………………………………………6

基本目標１：出産・子育ての希望をかなえる環境づくり……………7

基本目標２：定住・移住の促進・環境づくり…………………………9

基本目標３：安定した雇用機会の創出につなげる地域産業の振興 ……11

基本目標４：住環境の整備……………………………………………13

基本目標５：いつまでも元気で過ごせるまちづくり…………………15

第１章　増毛町総合戦略策定にあたって

１．総合戦略策定の背景

第１部の人口ビジョンで示したとおり、人口減少は直接的・間接的に住民生活や地域経済、地方財政に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。いわゆる「負のスパイラル」から脱却し、人口減少を克服するため、①東京一極集中を是正する、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する、③地域の特性に即して地域課題を解決する　ことを基本的な視点として、これまでにない危機感をもって問題意識を町民と共有しながら、「産官学金労言」が連携し、戦略的な施策を総合的に推進するために策定するものです。

２．総合戦略の位置づけ

増毛町総合戦略（以下、本戦略という）は、国が定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、地方において実施していくための「地方版総合戦略」です。

町の最上位計画である「増毛町総合計画」との整合性を図りつつ、「増毛町人口ビジョン」に掲げためざすべき将来の方向性を踏まえ、国が示す「政策パッケージ」に基づき、増毛町の特性や実情にあった具体的な施策・事業を明らかにするものです。

３．計画期間

本戦略は、平成 27 年度から平成 31 年度までの５か年を計画期間とします。

４．策定体制

①増毛町まち・ひと・しごと創生本部

人口減少についての検証を行い、人口減に対応するための政策の立案、各施策の数値目標・指標の設定など、人口ビジョン及び総合戦略の策定や推進方策について審議・決定しました。

〇構成メンバー

・町長、副町長、教育長、総務課長、企画財政課長、町民課長、福祉厚生課長、農林水産課長、商工観光課長、建設課長、上下水道課長、明和園長、税務課長、議会事務局長、農業委員会事務局長、出納室長、地域学習課長、総務学校課長（18 名）

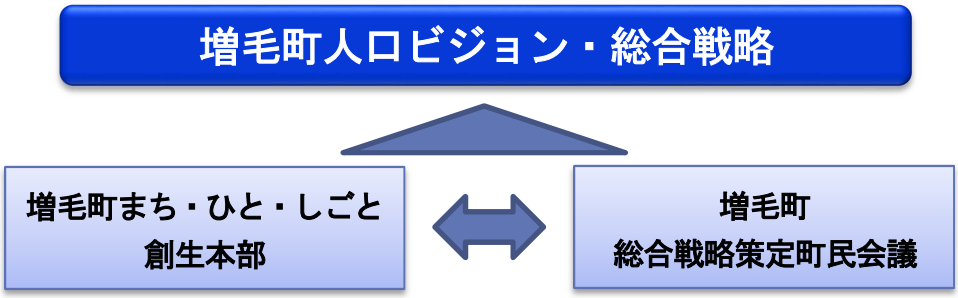
※事務局　企画財政課企画係

②増毛町総合戦略策定町民会議

町民（公募・推薦）による議論の場を設け、人口減少に対する取組に関して、積極的な意見交換を行い、増毛町版の地方創生に関する総合戦略を策定しました。

〇委員の構成：16 名（内訳　公募　5名、推薦　11 名）

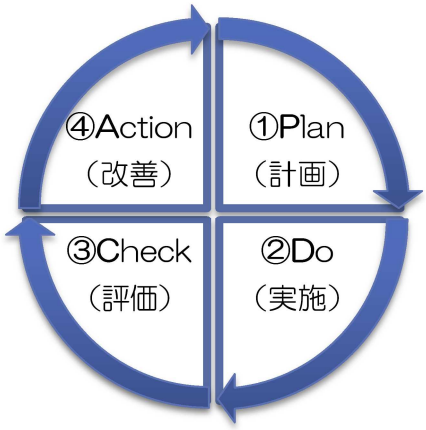
〇事務局：企画財政課　企画係



５．推進・検証体制

総合戦略においては、ＰＤＣＡサイクルを構築し効果的に推進します。基本目標ごとに数値目標を掲げ、総合戦略の進捗状況を施策ごとに設定された重要業績評価指標（Key Performance Indicators　以下「ＫＰＩ」という）をもって検証する機関を設置し、検証結果を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて総合戦略を改定します。

なお、検証機関の構成員については、総合戦略策定町民会議の委員を基本とします。



＜総合戦略における PDCA サイクル＞

① 総合戦略の策定

② 施策・事業の着実な実施

③ 実施した施策・事業の効果をＫＰＩ等により検証

④ 必要に応じた総合戦略の改定

第２章　総合戦略の基本的な考え方

１．まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

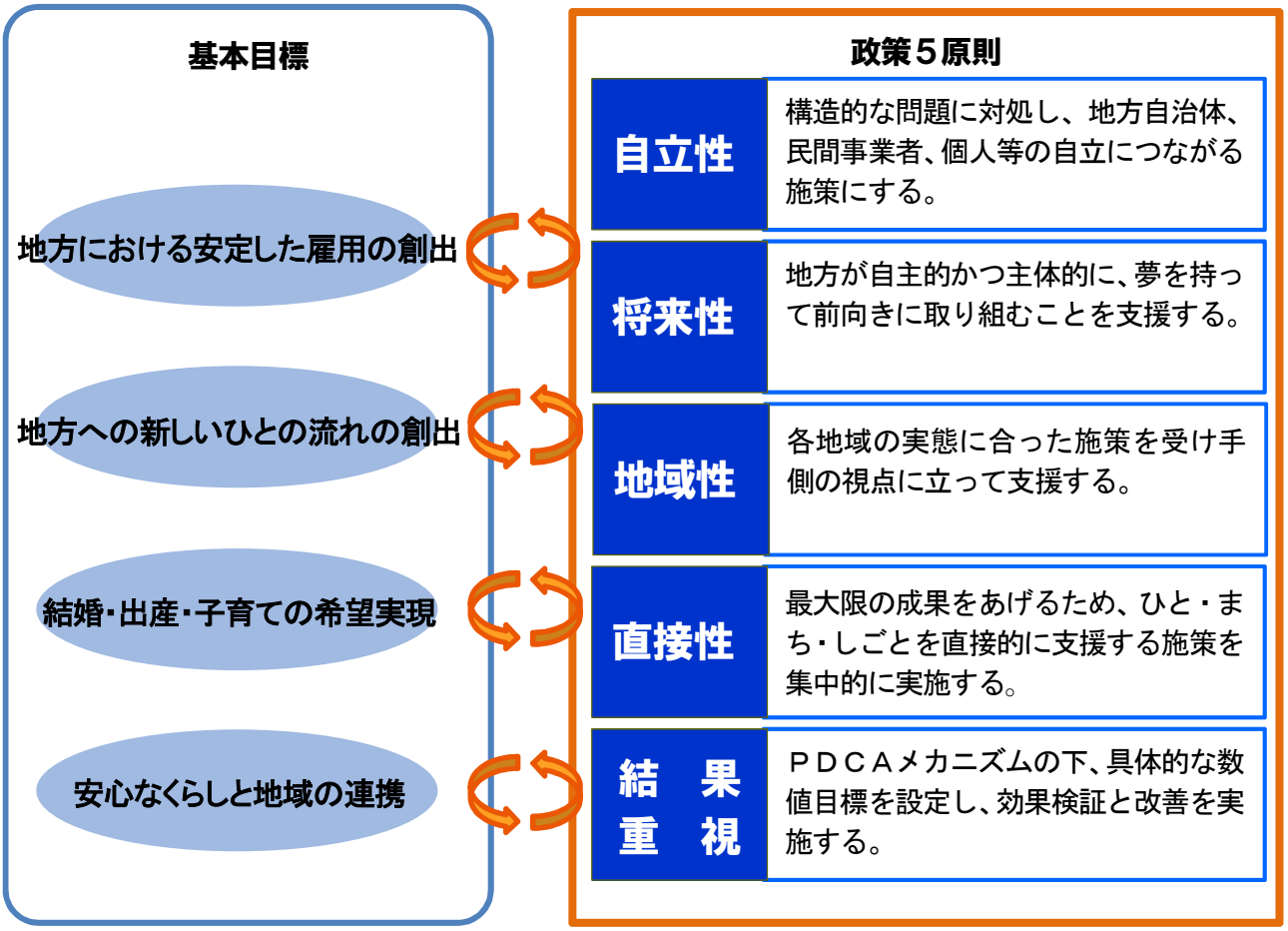
まち・ひと・しごとの創生においては、「ひと」が中心であり、長期的には町で「ひと」をつくり、「ひと」が「しごと」や「まち」をつくっていくことをめざしています。

そのためにも、現在は「ひと」が減ることで「しごと」が減り、「まち」が衰退することにより、さらに「ひと」や「しごと」が減っていく、いわゆる「負のスパイラル」（悪循環の連鎖）に歯止めをかけ、「しごと」が「ひと」を呼び込み、「ひと」が「しごと」を呼び込むことで「まち」に活力を取り戻していく、自立的かつ持続的な好循環を確立していくことが重要です。

したがって、総合戦略を推進するうえでは、「しごと」の創生、「ひと」の創生、「まち」の創生を同時かつ一体的に取り組んでいくこととします。

２．政策５原則の実現

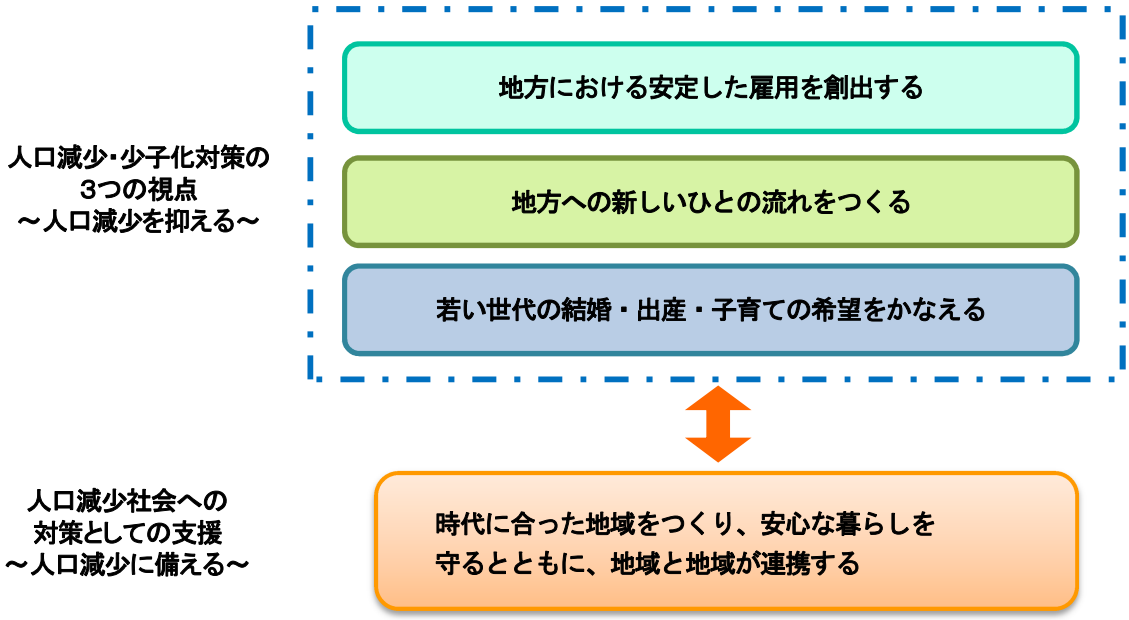
国では、まち・ひと・しごと創生に関して、政策５原則を掲げており、地方自治体においては、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定するにあたって、これら５原則に基づく必要があるとしています。



３．総合戦略における４つの基本目標の意義と関係性

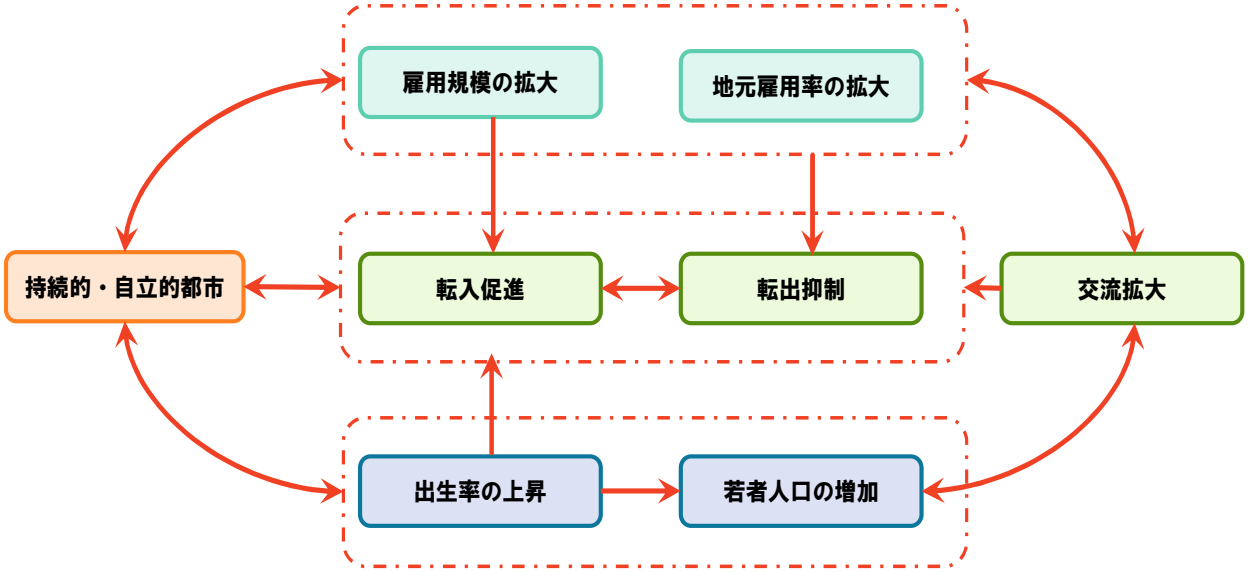
国の「総合戦略」においては、４つの基本目標が設定されています。

４つの基本目標は、すべてが同じ観点からの目標設定ではなく、人口減少を抑制するという観点からの人口減少・少子化対策として３つの基本目標が、また、人口減少に備えるという観点から、これからの地域のあり方を踏まえた地域づくりとしての１つの基本目標によって構成されています。



こうした４つの基本目標を位置づける２つの視点（人口減少抑制という視点＆人口減少への対応という視点）を明確に認識することによって初めて、総合戦略に課せられた地方創生のための取組のあり方が認識できることになります。

このような認識を踏まえたうえで、総合戦略で検討すべき主な施策の方向性と、その関係性をチャート化すると次のとおりです。



４．増毛町総合戦略の基本目標

本町では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の４つの基本目標「地方における安定した雇用を創出する」「地方への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する」を勘案しつつ、本町における人口減少の課題解決と地域創生のため、５つの基本目標を設定します。

基本目標１　出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

住民同士が互いの価値観を尊重、協力し、住民の自主的な活動を通して地域づくりや世代間交流しながら、出会いから結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援と取組を進めます。

基本目標２　定住・移住の促進・環境づくり

自然の恵みに支えられ豊かな暮らしをしていることを再認識するため、国内外と交流し、地域の歴史・文化的な土壌や担い手の人材育成力の醸成を図り、地域を愛し、自らの力で地域の魅力や新たな価値を生み出しながら、定住・移住を促進します。

基本目標３　安定した雇用機会の創出につなげる地域産業の振興

増毛町の地域資源を活用した地域産業の振興と経営基盤の強化、地域の特色を活かした新たな産業の起業化を推進するとともに、地域の特産品の一層の消費と知名度の拡大を図り、地元企業、生産者の経営の安定化を図ります。また、観光関連事業を推進し、積極的に交流人口の拡大を図っていきます。

基本目標４　住環境の整備

豊かな自然環境と歴史を感じる原風景のもと、過疎化に伴い増加する空き家・空き地の対策を推進し、その有用な活用を図るほか、だれもが快適な生活を営むことができるように、住宅を確保し、住環境の整備を進めます。

基本目標５　いつまでも元気で過ごせるまちづくり

高齢化が進む増毛町において、すべての町民が健やかに元気で、介護予防や健康づくりに勤しみ生きがいをもって生活ができる健康長寿のまちをめざします。

第３章　具体的施策の展開

■施策一覧

基本目標	具体的な施策	主要事業	
1．出産、子育ての希望をかなえる環境づくり	①出会いから結婚までのサポートの充実	・ましけエンジェル事業 ・結婚祝い金事業 ・増毛結婚祝賀会補助事業	
	②安心して子育てできるまちづくり	・保育所の増築 ・一時保育の実施 ・病児・病後児保育の体制整備 ・認定こども園の設置の検討 ・子育て支援センター、児童館の設置検討 ・保育料軽減事業	・15 歳までの医療費相当額を商品券で助成 ・こども公園の充実 ・公園遊具・室内遊具の充実 ・出産のための補助事業 ・多子世帯への支援事業 ・3世代同居の推進事業
	③教育環境の充実	・こどものための英語教室の開設 ・小・中学校のICT環境整備 ・スクールバス活用による少年団、部活動の活動支援	・新入学時ランドセル贈呈事業 ・中学入学時の保護者負担の軽減 ・中学校修学旅行の補助 ・高校通学費の補助事業
2．定住、移住の促進環境づくり	①移住定住推進事業	・U・Iターン情報等基盤環境整備事業 ・お試し住宅利用の促進 ・春から秋にかけての夏だけ移住促進	・2地域生活推進事業 ・介護職確保のための母子世帯の移住促進
	②空き家等を活用した住まいの確保	・町有住宅を活用したお試し住宅・移住者住宅の確保 ・空き家、空き地情報の発信	・民間住宅確保事業 ・町有地の格安提供による住宅建設促進 ・中古住宅購入補助事業
	③地域おこし隊と共に進めるまちづくり	・地域おこし協力隊の募集	
3．安定した雇用機会の創出と地場産業の振興	①地場産業活性化プロジェクト	・6次産業化の推進事業 ・農水産品のブランド化の推進 ・農産加工品開発事業 ・地域伝統食の保存伝承事業 ・農業・漁業の後継者、新規就業者の育成 ・地場産業活性化補助事業	・農業・漁業基盤整備事業の推進 ・漁港水面を利用した水産物畜養事業 ・ふるさと納税活性化事業 ・増毛港活性化事業 ・官民連携による植物栽培の推進
	②歴史と食を活かした観光プロジェクト	・終着駅おもてなし事業 ・増毛駅周辺整備事業 ・歴史散策路の整備事業 ・北海道遺産整備事業 ・地域資源を活用した観光振興 ・モニターツアーの実施	・A級B級グルメ開発事業 ・食のイベントの開催 ・ご当地居酒屋アンテナショップ事業 ・増毛特産品PR事業 ・増毛特産市の開催事業
	③地消地産事業プロジェクト	・ましけマルシェ事業 ・増毛産米普及事業 ・増毛町商品開発事業	・同窓会開催補助事業 ・プレミアム商品券発行事業
4．住環境の整備	①安心して住み続けられる住まいの整備	・南暑寒町2丁目団地建替事業 ・集合住宅建設補助事業 ・一戸建て住宅建設補助事業 ・リフォーム補助事業	・子育て世代住宅費補助事業 ・空き家、廃屋取り壊し補助事業 ・高齢者シェアハウス事業
	②地域と共に進める環境整備の推進	・桜、ナナカマド植樹事業 ・花いっぱい運動の推進 ・海岸清掃事業の実施	・海岸清掃事業の実施
5．いつまでも元気で過ごせるまちづくり	①町民の健康づくりの活動の推進	・特定健診の受診率の向上強化 ・健康国保加入者表彰事業 ・軽スポーツ・ウオーキングの奨励	
	②町民の生きがいづくり活動の推進	・パークゴルフ場の充実 ・高齢者いきいき事業団の設置 ・町民サークル活動の強化充実	・高齢者外出支援事業 ・ボランティア事業の活性化

基本目標１：出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

（１）基本的な方向と目標

基本的な方向	住民同士が互いの価値観を尊重、協力し、住民の自主的な活動を通して地域づくりや世代間交流しながら、出会いから結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援と取組を進めます。				
数値目標	項目		基準値	目標値（平成３１年）	
	合計特殊出生率		１．４９（平成２４年）	１．５０	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年

（２）具体的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）

具体的な施策	① 出会いから結婚までのサポートの充実				
若い世代の出会いの場を創出するため、若者同士の交流会などの開催を支援します。					
主要事業					
・ましけエンジェル事業 ・結婚祝い金事業 ・増毛結婚祝賀会補助事業					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
町内の婚姻組数		１１組（平成２６年度）		１５組	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	８組	９組	１６組		
	▲７５％	▲５０％	１２５％		

具体的な施策	②安心して子育てできるまちづくり				
安心して子育てができ、また、仕事と子育てが両立できるよう、保育、子育て環境の充実を図ります。					
主要事業					
・保育所の増築 ・一時保育の実施 ・病児・病後児保育の体制整備 ・認定こども園の設置の検討 ・子育て支援センター、児童館の設置検討 ・保育料軽減事業 ・15 歳までの医療費相当額を商品券で助成 ・こども公園の充実 ・公園遊具・室内遊具の充実 ・出産のための補助事業 ・多子世帯への支援事業 ・３世代同居の推進事業					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
公園整備箇所数（新設及び整備）		未実施		２箇所	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		１箇所	１箇所		
		５０％	５０％		

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
保育所入所児童定員数	６０人（平成２６年度）	７４人

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	６０人	７４人	７４人		
	０%	１００%	１００%		

具体的な施策	② 教育環境の充実

増毛町の将来を担うこどもたちが健やかに成長できるように教育環境の充実を図ります。また、子育てや教育にかかる負担を軽減するため、各種助成制度等の支援の強化を図ります。

主要事業

・こどものための英語教室の開設
・小・中学校のＩＣＴ環境整備
・スクールバス活用による少年団、部活動の活動支援
・新入学時ランドセル贈呈事業
・中学入学時の保護者負担の軽減
・中学校修学旅行の補助
・高校通学費の補助事業

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
児童生徒用ＩＣＴ端末設置数	未実施（平成 26 年度）	小学校３８台・中学校３８台 （学級最大人数分）

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		８１台	８１台		
		１０７%	１０７%		

基本目標２：定住・移住の促進・環境づくり

（１）基本的な方向と目標

基本的な方向	自然の恵みに支えられ豊かな暮らしをしていることを再認識するため、国内外と交流し、地域の歴史・文化的な土壌や担い手の人材育成力の醸成を図り、地域を愛し、自らの力で地域の魅力や新たな価値を生み出しながら、定住・移住を促進します。				
数値目標	指　標	基準値		目標値（平成３１年度）	
	転出超過数	▲３３人／年（2010～2015 年平均）（※社人研推計値）		▲１１人／年（2015 ～2020 年平均）（※人口ビジョンより）	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		▲７１人	▲５４人		
		▲１７３％	▲９５％		

（２）具体的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）

具体的な施策	① 移住定住推進事業				
増毛町の魅力を伝え、「増毛に住みたい」と思ってもらえるまちづくりを進めます。					
主要事業					
・Ｕ・Ｉターン情報等基盤環境整備事業 ・お試し住宅利用の促進 ・春から秋にかけての夏だけ移住促進 ・２地域生活推進事業 ・介護職確保のための母子世帯の移住促進					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状		目標値（平成３１年度）		
お試し住宅の利用件数	未実施（平成 26 年度）		１２件／年		
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	１件	３件	３件		
	８％	２５％	２５％		
ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状		目標値（平成３１年度）		
移住相談件数	未実施（平成２６年度）		１０件／年		
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		３件	３件		
		３０％	３０％		

具体的な施策	②空き家等を活用した住まいの確保	
空き家等の住まいに関する情報発信を強化するなど、移住・定住者の住まいの確保を支援します。		
主要事業		
・町有住宅を活用したお試し住宅・移住者住宅の確保 ・空き家、空き地情報の発信 ・民間住宅確保事業 ・町有地の格安提供による住宅建設促進 ・中古住宅購入補助事業		
ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
中古住宅購入補助利用件数	１件（平成２６年度）	延べ１０件

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		２件	７件		
		１１％	６７％		

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
町有住宅を利活用した住宅事業	未実施（平成２６年度）	延べ５戸

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		３件	５件		
		６０％	１００％		

具体的な施策	② 地域おこし隊と共に進めるまちづくり

都市住民を受け入れて地域おこし協力隊として委嘱し、地域おこしの支援や農林業の応援、住民の生活支援等の各種の地域協力活動に従事してもらいながら、当該地域への定住・定着を図ります。

主要事業

・地域おこし協力隊の募集

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
地域おこし協力隊	０人（平成２６年）	延べ１０人

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	１人	２人	４件		
	１０％	２０％	４０％		

基本目標３：安定した雇用機会の創出につなげる地域産業の振興

（１）基本的な方向と目標

基本的な方向	増毛町の地域資源を活用した地域産業の振興と経営基盤の強化、地域の特色を活かした新たな産業の起業化を推進するとともに、地域の特産品の一層の消費と知名度の拡大を図り、地元企業、生産者の経営の安定化を図ります。また、観光関連事業を推進し、積極的に交流人口の拡大を図っていきます。				
数値目標	指　標		基準値	目標値（平成３１年度）	
	観光客数		26 万人／年（平成 26 年）	３１万人／年	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	２６．７万人	３２．８万人	３０．６万人		
	１４％	１３６％	９２％		

（２）具体的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）

具体的な施策	①地場産業活性化プロジェクト

農業、漁業の６次産業化等を促進し、情報発信（ホームページ）、イベント等と通して販路拡大を図ります。

主要事業

・６次産業化の推進事業
・農水産品のブランド化の推進
・農産加工品開発事業
・地域伝統食の保存伝承事業
・農業・漁業の後継者、新規就業者の育成
・地場産業活性化補助事業
・農業・漁業基盤整備事業の推進
・漁港水面を利用した水産物畜養事業
・ふるさと納税活性化事業
・増毛港活性化事業
・官民連携による植物栽培の推進

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
６次産業化の件数	未実施（平成２６年度）	延べ５件

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		５件	５件		
		１００％	１００％		

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
地域伝統食の保存伝承事業（教室開催数）	未実施（平成 26 年度）	２回／年

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年

具体的な施策	②歴史と食を活かした観光プロジェクト

増毛町の食や歴史を中心とした観光資源の活用・再発見をし、集客力を高めていきます。

主要事業

・終着駅おもてなし事業
・増毛駅周辺整備事業
・歴史散策路の整備事業
・北海道遺産整備事業
・地域資源を活用した観光振興
・モニターツアーの実施
・Ａ級Ｂ級グルメ開発事業
・食のイベントの開催
・ご当地居酒屋アンテナショップ事業
・増毛特産品ＰＲ事業
・増毛特産市の開催事業

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成㉛年度）
特産品を利用したグルメ開発	０件（平成２６年度）	延べ２件

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		１件	１件		
		５０％	５０％		

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
食と地酒をＰＲするモニターツアー	未実施（平成２６年度）	３回／年

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		２回			
		６７％			

具体的な施策	③地消地産事業プロジェクト

町民ひとり一人が増毛の農産物や海産物の味の良さを再認識できる機会を増やし、地消地産を促進します。

主要事業

・ましけマルシェ事業
・増毛産米普及事業
・増毛町商品開発事業
・同窓会開催補助事業
・プレミアム商品券発行事業

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成３１年度）
同窓会開催補助回数	未実施（平成２６年度）	１５組／年

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		１５組	１２組		
		１００％	８０％		

基本目標４：住環境の整備

（１）基本的な方向と目標

基本的な方向	豊かな自然環境と歴史を感じる原風景のもと、過疎化に伴い増加する空き家・空き地の対策を推進し、その有用な活用を図るほか、だれもが快適な生活を営むことができるように、住宅を確保し、住環境の整備を進めます。				
数値目標	指　標		基準値		目標値（平成３１年度）
	新築住宅件数		５件（H22～H26 平均値）		６件／年
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	８件	１１件	１０件		
	３００％	６００％	５００％		

（２）具体的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）

具体的な施策	①安心して住み続けられる住まいの整備				
良質な住まいを確保するとともに、危険な空き家の解消を図るなど、住環境の整備を進めます。					
主要事業					
・南暑寒町２丁目団地建替事業 ・集合住宅建設補助事業 ・一戸建て住宅建設補助事業 ・リフォーム補助事業 ・子育て世代住宅費補助事業 ・空き家、廃屋取り壊し補助事業 ・高齢者シェアハウス事業					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
民間集合住宅の建設補助事業		未実施（平成２６年度）		延べ４棟	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		１棟	４棟		
		２５％	１００％		
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
一戸建て住宅建設補助件数		未実施（平成２６年度）		延べ１２棟	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年

具体的な施策	②地域と共に進める環境整備の推進
桜やナナカマドの計画的植樹、町民による花いっぱい運動や清掃活動により、環境の整備を推進していきます	
主要事業	
・桜、ナナカマド植樹事業 ・花いっぱい運動の推進 ・海岸清掃事業の実施	

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	現　状	目標値（平成 31 年度）
桜、ナナカマド植樹本数	未実施（平成 26 年度）	30 本／年

進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	５本	１０本	１０本	４０本	
	１７％	３３％	３３％	１３３％	

基本目標５：いつまでも元気で過ごせるまちづくり

（１）基本的な方向と目標

基本的な方向	高齢化が進む増毛町において、すべての町民が健やかに元気で、介護予防や健康づくりに勤しみ生きがいをもって生活ができる健康長寿のまちをめざします。				
数値目標	指　標		基準値	目標値（平成３１年度）	
	６５～７４歳の要介護認定率		５．２％（平成２５年）	４．４％	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
			４．８％		
			５０％		

（２）具体的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）

具体的な施策	① 町民の健康づくりの活動の推進				
高齢になってもいきいきと暮らしていけるよう、健康管理や介護予防を推進してきます。					
主要事業					
・特定健診の受診率の向上強化 ・健康国保加入者表彰事業 ・軽スポーツ・ウオーキングの奨励					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
特定健診の受診率		４８．４％（平成２６年度）		６５．０％	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	５３．３％	５４．４％	６１．６％		
	３０％	３６％	８０％		

具体的な施策	② 町民の生きがいづくり活動の推進				
高齢者が生きがいをもち、積極的な社会参加のもと、地域で自立した生活ができるまちづくりを推進していきます。					
主要事業					
・パークゴルフ場の充実 ・高齢者いきいき事業団の設置 ・町民サークル活動の強化充実 ・高齢者外出支援事業 ・ボランティア事業の活性化					
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
パークゴルフ場の拡充		１８ホール（平成２６年）		３６ホール	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
	１８ホール	３６ホール	３６ホール		
		１００％	１００％		
ＫＰＩ（重要業績評価指標）		現　状		目標値（平成３１年度）	
高齢者いきいき事業団（登録者数）		未設置（平成２６年度）		５０人	
進捗状況	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３１年
		４０人			
		８０％			